

2026 年 10 月 5 日

NTT データ先端技術と NTT データ ニューソン、 「AI-Native 開発内製化支援ソリューション for intra-mart」を提供開始 ～開発標準や実装ノウハウを活用し、品質と再現性を確保した AI ネイティブ開発を実現～

株式会社 NTT データ先端技術
株式会社 NTT データ ニューソン

株式会社 NTT データ先端技術(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:田中 秀彦、以下:NTT データ先端技術)、株式会社 NTT データ ニューソン(本社:東京都港区、代表取締役社長:喜多 淳一郎、以下:NTT データ ニューソン)は、2026 年 10 月 5 日、intra-mart(イントラマート)の AI ネイティブ開発^{*1} 環境を活用し、お客様の intra-mart アプリ開発の内製化・自走化を支援する「AI-Native 開発内製化支援ソリューション for intra-mart」の提供を開始します。

本ソリューションは、イントラマートが推進する AI ネイティブ開発およびハーネス駆動開発^{*2} の考え方に基づき、intra-mart の開発標準に加え、お客様固有の開発標準や共通部品などを「AI Context Pack」として構築し、intra-mart の AI ネイティブ開発環境に組み込んで提供します。AI エージェントが、開発者の自然言語による要求に基づき、これらの開発資産を参照しながらアプリ開発を支援することで、品質向上と再現性の確保を実現します。これにより、お客様は、開発者個人の経験やスキルに依存することなく、安定して高品質な intra-mart アプリを開発できるようになります。

NTT データ先端技術が有する AI 活用の自走化支援実績およびお客様の開発標準やノウハウの形式知化に関する知見と、NTT データ ニューソンが培ってきた intra-mart 開発に関する豊富な実装ノウハウを基に、お客様の AI 活用ならびに intra-mart アプリ開発の内製化・自走化を強力に支援します。

【背景】

昨今、AI を活用したアプリケーション開発が急速に普及し、自然言語での指示によってシステム開発を行う「AI ネイティブ開発」への注目が高まっています。intra-mart においても、AI を活用して業務アプリケーションに必要な業務・機能要件を整理し、仕様を作成できるなど、開発機能の強化が進んでいます。

一方で、AI ネイティブ開発では、開発者の知識やプロンプトの記述方法によって生成結果にばらつきが生じることがあり、品質や再現性の確保が大きな課題となっています。AI を活用した開発の内製化を推進するためには、開発者個人の経験やスキルに依存することなく、高品質な成果物を安定的に生み出せる仕組みづくりが求められています。

こうした背景を踏まえ、両社は、NTT データ先端技術が有する AI 活用の内製化・自走化支援実績およびノウハウの形式知化に関する知見と、NTT データ ニューソンが培ってきた intra-mart 開発の豊富な実装ノウハウを組み合わせ、**「AI-Native 開発内製化支援ソリューション for intra-mart」**を提供します。本ソリューションにより、品質と再現性を確保した AI ネイティブ開発を実現し、お客様の開發生産性向上と intra-mart アプリ開発の内製化・自走化を支援します。

【「AI-Native 開発内製化支援ソリューション for intra-mart」概要】

intra-mart は、「ヒトと AI と業務を、ひとつに動かす」ためのオーケストレーション基盤を目指しています。AI ネイティブ開発による開發生産性の飛躍的な向上、AI エージェントによる業務自動化、これらを組み合わせ、ヒトと AI が協働する新たな業務プロセスを実現する基盤として、エンタープライズ企業の企業価値そのものを進化させ続けています。

本ソリューションは、イントラマート社が推進する AI ネイティブ開発機能をベースに、お客様固有の開発標準や実装ノウハウを AI が参照できる形に整備し、品質と再現性を確保した AI による intra-mart アプリ開発を実現します。

要件定義、設計、実装・テストの各工程に特化した AI エージェントが、intra-mart 固有の開発ノウハウ、成果物テンプレート、品質確認観点を参照しながら、設計書、ソースコード、テスト仕様などの作成と品質チェックを支援します。また、課題解決 AI エージェントが各工程の AI エージェントと連携して対応することで、開発プロセス全体の一貫性を維持します。

AI が成果物の生成やレビューを支援する一方、成果物の妥当性確認と最終承認は人が担います。AI と人が協働する開発プロセスにより、開発効率の向上と、品質・再現性・説明責任の確保を両立し、intra-mart アプリ開発の内製化・自走化を支援します。

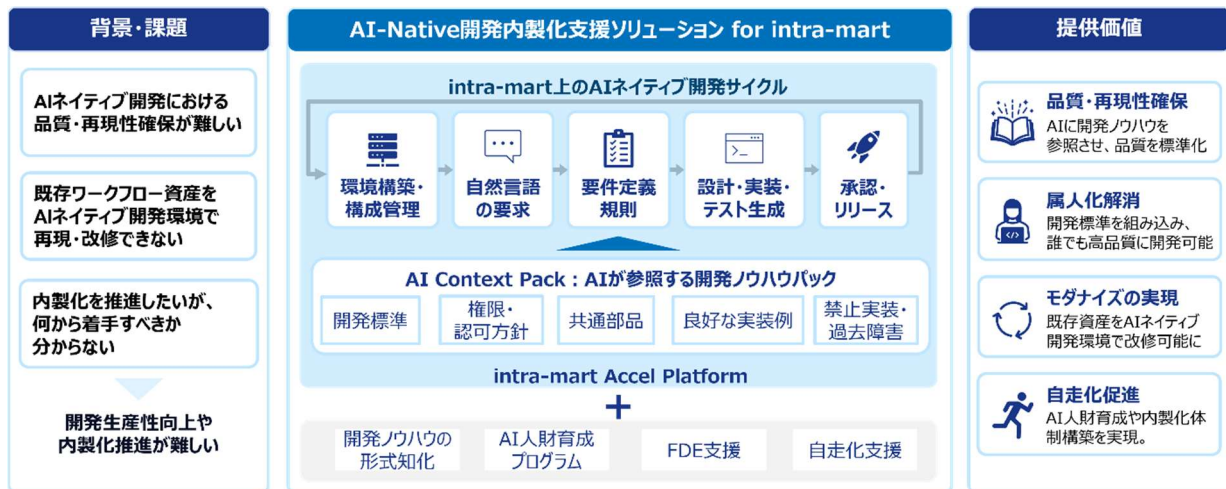


図 1: ソリューション概要図

【本ソリューションの特長】

1. お客様固有の開発ノウハウを intra-mart 上に組み込み、AI ネイティブ開発に活用
お客様固有の開発標準や設計ルール、権限・認可方針、共通部品、レビュー観点、過去障害情報などを収集・整理し、「AI Context Pack」として構築します。これを intra-mart の AI ネイティブ開発環境に組み込むことで、AI が開発時にこれらの知見を参照しながら設計・実装を支援し、品質と再現性の高い intra-mart アプリ開発を実現します。
2. NTT データグループが培った AI 開発・活用ノウハウを搭載
NTT データグループがお客様向け案件や社内実践を通じて蓄積してきた AI 開発・活用ノウハウを「AI Context Pack」に標準搭載しています。これにより、AI 品質管理やガバナンスに関する知見、AI 開発・活用のベストプラクティスを取り入れることで、高品質な業務アプリ開発と AI 活用・内製化のスムーズな推進を支援します。
3. 既存の intra-mart 資産を活かしながら AI ネイティブ開発へ移行
既存の intra-mart アプリおよびワークフロー資産を、AI ネイティブ開発環境で再現・活用できる形へモダナイズします。これにより、これまで蓄積してきた業務ノウハウやシステム資産を活かしながら、最新の AI ネイティブ開発環境へ段階的に移行できるため、投資の重複を抑えつつ開發生産性の向上を実現します。
4. AI 活用の定着・内製化体制の構築までをワンストップで支援
FDE(Forward Deployed Engineer)^{※3}として、お客様の開発現場において伴走しながら、ルール整備や人材育成、活用ガイドライン策定を支援します。また、お客様内で全社的な AI 活用を推進する組織「AI CoE(Center of Excellence)」の設立および運営支援を実施し、AI ネイティブ開発の実践・定着を促進します。開発活動を通じて得られた知見やノウハウは継続的に「AI Context Pack」へ反映し、組織の知識資産を蓄積・高度化することで、自走可能な内製化体制の構築を実現します。

【想定されるお客様】

- ・ 業務変更や制度改定が多く、intra-mart の改修頻度が高い企業
- ・ 既存の intra-mart システムのモダナイズを推進されたい企業
- ・ intra-mart アプリ開発の内製化や、開發生産性向上を目指す企業
- ・ AI 活用において品質・ガバナンス確保を重視する企業

【株式会社イントラマートからのエンドースメント】

このたびの、NTT データ先端技術様、NTT データ ニューソン様による AI ネイティブ開発環境を活用した内製化支援ソリューションのリリースを心より歓迎いたします。ビジネス環境が急速に変化する中、AI によるビジネス変革への期待が高まる一方で、品質やガバナンスを確保しながら、安心して AI を活用できる環境づくりも重要になっています。本ソリューションにより、両社が培ってきた AI 活用や intra-mart 開発に関する知見を掛け合わせ、AI を活用した高品質なアプリケーション開発の内製化がさらに加速することを期待しています。

当社も、ヒトと AI の協働による業務プロセス変革と価値創出を目指し、パートナーの皆様との連携を通じて、お客様の AI 活用と内製化を支援してまいります。

株式会社イントラマート
代表取締役社長 中山 義人

【各社の役割】

■NTT データ先端技術：

暗黙知の形式知化に関するノウハウを活かし、お客様が保有する開発標準や業務ノウハウの収集・体系化を支援します。また、AI 活用推進組織「AI CoE(Center of Excellence)」の設立・運営支援や、FDE(Forward Deployed Engineer)による伴走支援を通じて、お客様の内製化・自走化の実現に貢献します。

■NTT データ ニューソン：

intra-mart パートナーとして培った豊富な導入・開発実績を活かし、お客様の既存開発資産の分析、AI Context Pack の設計・構築・カスタマイズ、intra-mart の AI ネイティブ開発環境への適用・定着支援を担います。

【今後について】

両社は本ソリューションを今後 intra-mart の既存ユーザーを中心に提供し、お客様の intra-mart 活用における内製化推進や開發生産性向上に貢献します。また、NTT データ ニューソン社内においても本ソリューションの導入を進め、そのプロセスおよび結果を踏まえて、開発手順やコンテキスト資産の継続的な改善を重ねていきます。

▶ AI-Native 開発内製化支援ソリューション for intra-mart

<https://www.newson.co.jp/services/AppDev/BPM/intramartpro/intramart-ai-native/>

【参考情報】

本ソリューションの詳細は、株式会社 NTT データ ニューソンが出展する「intra-mart LIVE 2026 Realize」(2026 年 11 月 5 日～6 日開催)にてご紹介予定です。詳細は <https://www.intra-mart.jp/event/live2026/> をご覧ください。

【会社情報】

■NTT データ ニューソン

NTT データ ニューソンは、1974 年の創立以来 50 年以上にわたり、システム開発や IT 基盤構築、運用サービスを通じて、企業の IT 活用と業務変革を支援してきました。2017 年より NTT データグループの一員として、幅広い業界のお客様の DX 推進を支援しています。intra-mart 分野では豊富な導入・開発実績と実装ノウハウを有し、要件定義から設計・開発、保守運用まで一貫したサービスを提供しています。今後も NTT データグループ各社との連携を通じて、お客様に新たな価値を提供してまいります。

公式サイト：<https://www.newson.co.jp/>

■NTT データ先端技術

NTT データ先端技術はテクノロジーコンサルティングを起点にお客様のビジネス課題を理解し、デジタルビジネス・基盤ソリューション・サイバーセキュリティ・マネージドサービスの 4 つの事業領域を通じて、お客様のビジネス変革を支援しています。AI はこれら 4 領域すべてに関わる技術であることから、会社一体となって取り組んでいます。NTT データ先端技術は今後も、AI を活用したソリューションの開発・提供を通じて、お客様のビジネス変革を支援していきます。

公式サイト：<https://www.intellilink.co.jp/>

- ※1 AI ネイティブ開発: 生成 AI を活用し、自然言語による指示をもとに設計・実装・テストなどの開発工程を支援・自動化する開発手法。
- ※2 ハーネス駆動開発: 開発標準や設計ルール、実装ノウハウなどを AI が参照可能な形で整備し、生成結果の品質と再現性を向上させる開発手法。
- ※3 FDE(Forward Deployed Engineer): お客様の現場に入り込み伴走支援を行うエンジニア。

※ 「INTELLILINK」は日本国内および米国における株式会社 NTT データ先端技術の登録商標です。

※ その他の商品名、会社名、団体名は、一般に各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

■ 報道関係のお問い合わせ先 株式会社 NTT データ ニューソン 経営企画部 アライアンス推進担当 山崎(やまさき)、吉井(よしい) Tel:03-5545-8630 Mail:pr_newson@newson.co.jp 株式会社 NTT データ先端技術 経営企画部 広報担当 齋藤、和田 Mail:pr-info@intellilink.co.jp	■ 製品・サービスに関するお問い合わせ先 株式会社 NTT データ ニューソン 営業マーケティング部 溝口(みぞぐち)、松本(まつもと) Tel:03-5545-8631 Mail:newson_m-ais@hml.newson.co.jp 株式会社 NTT データ先端技術 デジタルビジネス事業本部 ビジネスディベロップメント推進室 谷越、湯野川 Mail:bdo-inquiry@intellilink.co.jp
--	--